



2020年上期事業活動および 今後の取り組みについて

2020年8月6日



住友ゴム工業株式会社
SUMITOMO RUBBER INDUSTRIES, LTD.

タイヤ・スポーツは、第2四半期に大きく需要減少

■ タイヤ事業

- ・ グローバルに市販用、新車用ともにタイヤ需要が大幅に減少
- ・ 中国は2～3月、日本・アジア・欧米は4～5月が落ち込みの底
- ・ その後徐々に回復傾向だが、前年を下回るレベル

■ スポーツ事業

- ・ ゴルフ、テニスともグローバルに需要が消失。大幅な販売減少
- ・ 各種スポーツ関連大会・イベントが軒並み中止
- ・ ウェルネス(スポーツクラブ)は、緊急事態宣言もあり長期休業

■ 産業品他事業

- ・ 医療用精密ゴム部品や、感染予防につながる使い捨て手袋は需要増加
- ・ OA機器メーカー生産減でOA機器用精密ゴム部品の需要減少はあったものの、産業品他事業全体では堅調

1. 従業員とその家族の感染予防の徹底

- ・在宅テレワークの実施

2. 外出自粛・在宅勤務の状況に合った販促・営業活動を実施

- ・オンラインオーダーシステム導入、活用
- ・新たな営業活動（リモート面談、ドライブスルータイヤ点検など）

3. 需要減少を踏まえ、業績改善に向け緊急対策実施

- ・経費節減、設備投資抑制
- ・手元資金の確保
- ・生産調整（稼働休止、生産量を調整）

4. 経営基盤強化、組織体質強化に注力

- ・中期計画課題への取り組み
- ・Be the Changeプロジェクト推進

需要減の影響はあるが、年末に向け徐々に回復の見通し

■ タイヤ事業

- ・ 販売本数は、下期前年比で1割程度減少の見込み
- ・ 足元の6～7月は、中国や北米市場が先行して回復傾向にあり、地域によっては、前年を上回るどころも出てきている
- ・ 市販用タイヤが先に回復してきており、販売に注力

■ スポーツ事業

- ・ 需要減で厳しい状況が続き、下期の売上収益は前年比で約2割程度減少の見込み
- ・ 足元の6～7月は、北米など海外で回復傾向も出てきた

公表値の確実な達成および超過を目標に全社で取り組む

Value Driver

- ① 高機能商品の開発・増販
- ② 新たな価値の創出
- ③ ESG経営の推進

企業の
経済的・社会的価値を
さらなる高みへ

経営基盤強化の全社プロジェクト
「Be the Change」

利益創出の活動
組織体質の強化活動

新市場への挑戦

新分野の創出

グローバル体制の成果を最大化

飽くなき技術革新

SMART TYRE CONCEPT
スマート タイヤ コンセプト

次のステージへ

2020年

2025年

【米国】 堅調な市販用市場でSUV用タイヤが好調

- ・ SUV用の「WILDPEAK」シリーズが市販市場で絶好調、前年同期比1.4倍
- ・ 同シリーズがJeepやTOYOTAのSUV、4×4に新車装着。今後も装着拡大に注力



【中国】

いち早く回復してきた市場で
プレミアムタイヤが好調

- ・ オンライン受発注システムのプラットフォーム活用で他社に先行
- ・ 市販市場ではプレミアムカー用「SP SPORT MAXX 050」シリーズが好調に推移
- ・ 大口径低燃費タイヤの新車装着拡大

【欧州】

在宅での営業体制をいち早く
構築しシェアアップ

- ・ 「AZENIS FK510」に加え、昨秋に投入したSUV用の「WILDPEAK A/T AT3WA」も好調

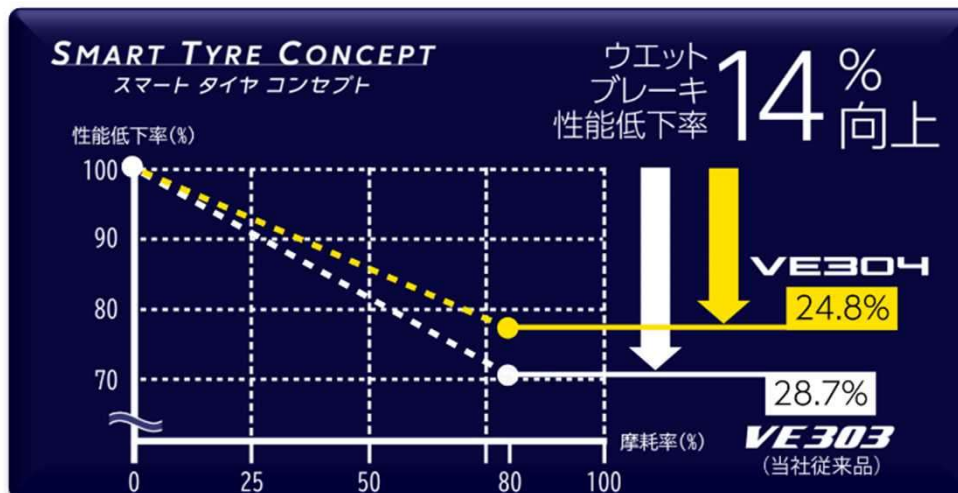
～SMART TYRE CONCEPTの性能持続技術を搭載～
プレミアムコンフォートタイヤ「VEURO VE304」を発売

- ・ 3月の発売以来、計画を大幅に上回る販売実績を達成
- ・ VEUROシリーズは前年同期比で2倍超の販売数

SMART TYRE CONCEPT

性能持続技術

タイヤの摩耗や経年による性能低下を抑制し、
新品時の性能を長く持続させる技術



33rd 日刊自動車新聞
用品大賞 2020

グランプリを受賞



VEURO
VE304

ゴルフクラブ「ゼクシオ」を拡販

- ・ゴルフクラブ「ゼクシオ イレブン」「ゼクシオ エックス」を拡販
- ・2000年の初代モデル発売以降、
20年連続でシェアNO.1を獲得。
2020年上期もシェアNO.1を継続中※

※矢野経済研究所調べの全国主要小売店店頭販売実績集計

(2000～2019年年間/2020年1-6月)におけるサブブランド別ウッド・アイアン合計金額。



産業品事業では医療用精密ゴム部品と制振に注力

- ・医療用精密ゴム部品は増収、
特に国内販売が好調。
スロベニア工場も稼働し、
欧州の医薬品メーカーに供給拡大
- ・戸建て住宅用制震ユニット
「MIRAIE」を軸に拡販



スロベニア工場

ESG経営の推進によるSDGs達成への貢献

■ E (Environment)

- ・天然ゴムの臭いを大幅に抑えた「臭気低減天然ゴム」を開発

■ S (Social)

- ・マレーシア工場でニトリルゴム薄手手袋の増産を決定
- ・新型コロナ対策医療支援としてゴム手袋を日本政府に寄付
- ・経済産業省の定める「健康経営銘柄2020」40社に選定
- ・女性活躍推進法に基づく優良企業として「えるぼし認定(二つ星)」を取得



■ ESG全般

- ・「ポジティブ・インパクト・ファイナンス※」の融資契約を三井住友信託銀行とゴム業界で初めて締結

※企業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト(ポジティブな影響とネガティブな影響)を包括的に分析・評価し、当該活動の継続的な支援を目的とする融資

組織体質と利益基盤の強化の2軸で経営基盤強化

組織体質の強化



- ・ 挑戦/リーダーシップを後押しする環境整備
- ・ 生産性を高める施策を推進

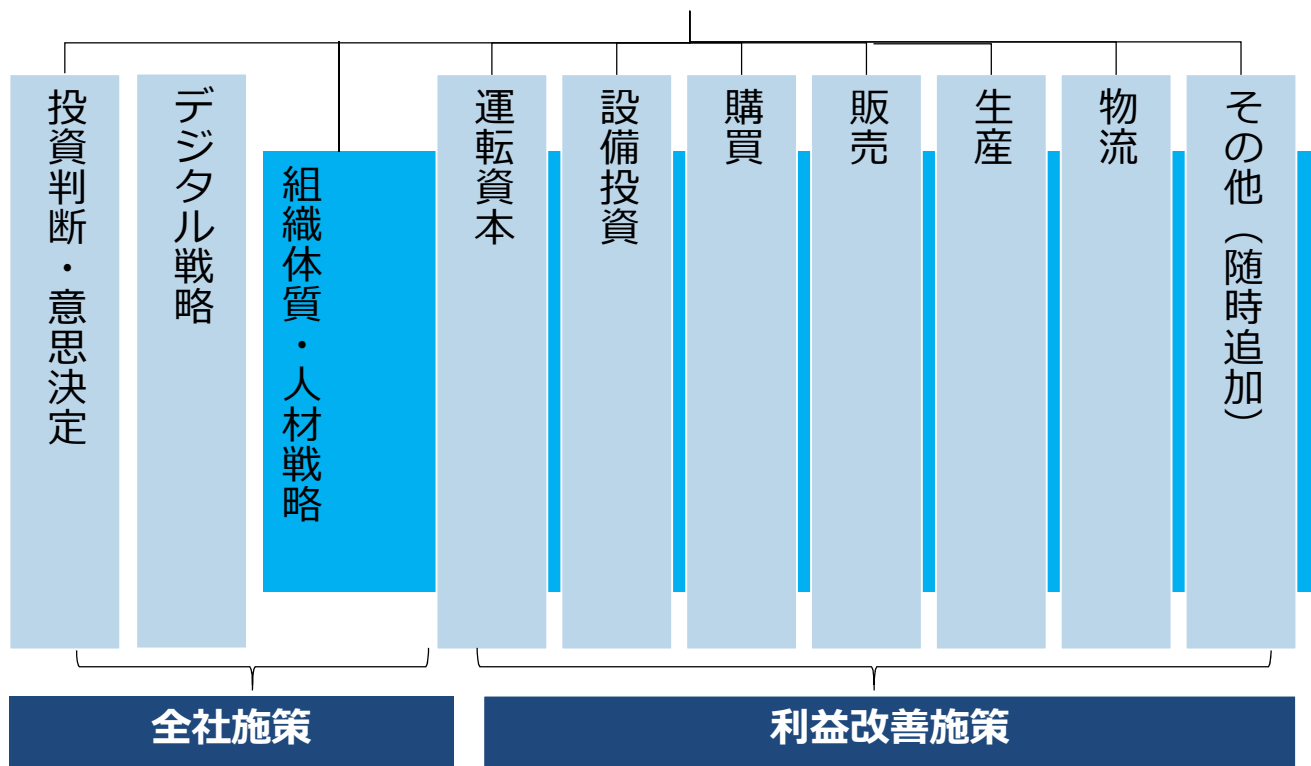
利益基盤の強化



- ・ キャッシュ創出
- ・ コスト低減
- ・ 新たな価値創造

社内プロセスや仕組みの改善にもつなげる

経営基盤強化の取り組みは着実に進捗



部門を越えた
ワークショップ



決起集会
(3月初旬)

<社員の意識変革にもつながっている>

- ・ 周りにいい影響を与えられる機会につながっている
- ・ 部門を跨いだ大きなテーマに挑戦できている
- ・ プロジェクトを通じて考える幅が広がったと感じる
- ・ 週次的高速PDCAでスピード感があがった



住友ゴム工業株式会社
SUMITOMO RUBBER INDUSTRIES, LTD.